

<p>【技術の名称】 ヘキサジョイント -回転圧入鋼管杭用機械式継手-</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第19-21号 性能証明発効日：2020年2月20日</p> <p>【取得者】 日鉄建材株式会社</p>
--	---

【技術の概要】

本技術は、3枚の鋼板部材から構成され、接合対象となる鋼管杭端部に工場にて鋼板部材（端部プレート）を溶接し、この継手付き鋼管杭を現場へ搬入し、現場では六角形状の鋼板部材（キーププレート）を継ぎ目に挟み込み、継手付き鋼管杭どうしをボルトで接続する回転圧入鋼管杭の機械式継手（以下、“ヘキサジョイント”と称する）である。本継手は、主に接合対象となる鋼管と同等のねじり力と圧縮力の伝達を行い、圧縮力は密着接触（メタルタッチ）で、ねじり力は端部プレートとキーププレートの支圧接触で抵抗する機構となっている。

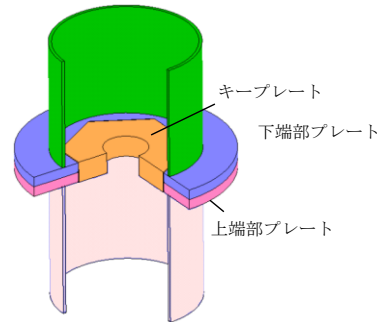


図1 継手構成概要図

表1 継手対象鋼管仕様（※板厚は最大板厚）

直径(mm)	139.8	165.2	190.7	216.3	267.4	318.5	355.6
板厚(mm)	4.5	4.5	5.3	5.8	5.8	6.9	7.9
F値	235	325					

直径(mm)	400	406.4	500	508	600	609.6
板厚(mm)	9	9.5	9	9.5	9	9.5
F値	325					

【技術開発の趣旨】

本技術は、現場溶接継手における課題（専門技術者が必要。現場環境（天候・施工スペース等）の影響）を鑑み、組み立てに専門技術者が不要かつ、施工時の現場環境の影響を受けず、継手品質の安定した回転圧入鋼管杭機械式継手を提供することを意図として開発したものである。また、継手で伝達する作用力を主に圧縮力とねじり力に限定した継手とすることで継手部品の製作・コストの合理化を図っている。

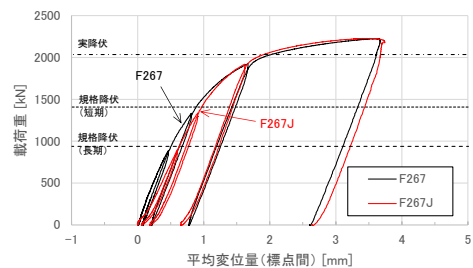


図2 圧縮試験結果（代表径（φ267.4））

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。
 申込者が提案する「ヘキサジョイント 製作・設計・施工基準」に従って製作・設計・施工されたヘキサジョイントを有する鋼管杭は、同基準で規定する長期許容耐力および短期許容耐力を有する。

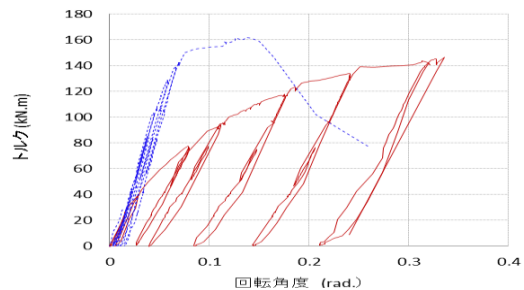


図3 ねじり試験結果（代表径（φ267.4））

【本技術の問合せ先】

日鉄建材株式会社 担当者：古谷 浩平
 〒101-0021 東京都千代田区外神田 4-14-1 秋葉原 UDX 13F

E-mail : kfuruya@ns-kenzai.co.jp
 TEL : 03-6625-6387 FAX : 03-6625-6311